

新旧対照表

「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方（案）本編」

項目	旧	新
<p>表紙</p> <p>p. 2</p> <p>1. 総則</p> <p>1-1. 河川空間におけるサイクリング環境整備の「基本的考え方（案）」の目的</p>	<p>「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方（案）本編」</p> <p>2024年6月</p> <p>かわまちインフラデザイン研究会</p> <p><地方部の河川：量的拡大>（事例：高崎伊勢崎自転車道）</p> <p>地方部の河川では、都道府県等の河川管理者が長大な延長の河川管理用通路をサイクリング環境整備に活用することが主体となる。その際、河川管理者や建設コンサルタント等が必要とする基本的情報が不足しており、進め方の参考となるような情報や事例が必要である。</p> <p>そのため、「基本的考え方（案）」が河川管理者や具体の設計を担当する建設コンサルタント等が参考とする情報源となり、河川空間を活用した長大な延長のサイクリング環境の整備が図られることが期待される。</p>	<p>「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方（案）本編」</p> <p>2025年3月</p> <p>かわまちインフラデザイン研究会</p> <p><地方部の河川：量的拡大>（事例：高崎伊勢崎自転車道）</p> <p>地方部の河川では、長大な延長のサイクリング環境を整備するため、地方公共団体等が占有主体となり河川管理用通路を活用している事例がある。</p> <p>一方で、こうした長大な延長のサイクリング環境整備に必要なとなる基本的情報が不足している場合があり、進め方の参考となるような情報や事例が必要である。</p> <p>そこで、「基本的考え方（案）」を参考することにより、河川空間を活用した長大な延長のサイクリング環境の整備が図られることが期待される。</p>

「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方（案）」の目的

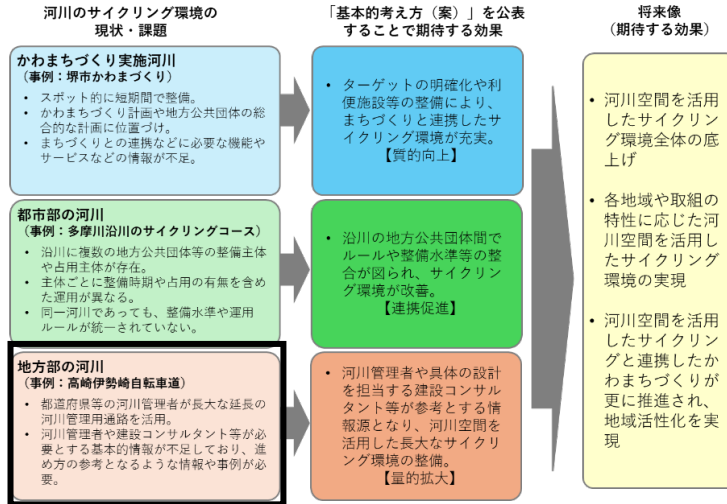


図1 「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方(案)の目的

【河川のサイクリング環境の現状・課題】

地方部の河川

(事例：高崎伊勢崎自転車道)

- 都道府県等の河川管理者が長大な延長の河川管理用通路を活用。
- 河川管理者や建設コンサルタント等が必要とする基本的情報が不足しており、進め方の参考となるような情報や事例が必要。

「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方（案）」の目的

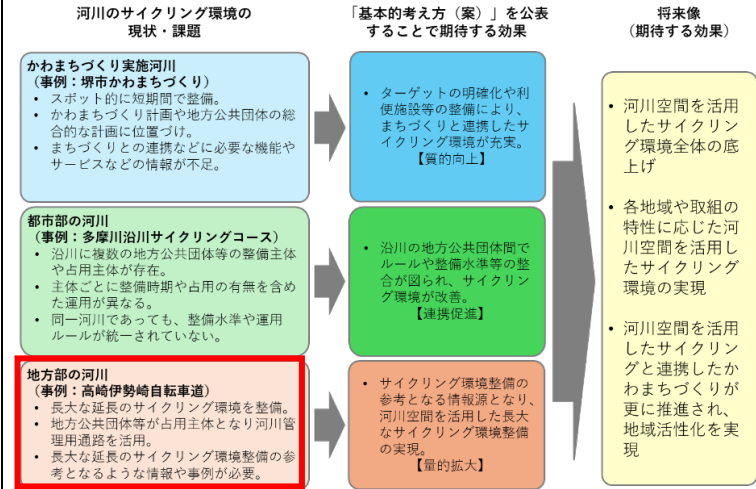


図1 「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方(案)の目的

【河川のサイクリング環境の現状・課題】

地方部の河川

(事例：高崎伊勢崎自転車道)

- 長大な延長のサイクリング環境を整備。
- 地方公共団体等が占用主体となり河川管理用通路を活用。
- 長大な延長のサイクリング環境整備の参考となるような情報や事例が必要。

<p>表紙</p> <p>p. 4</p> <p>1. サイクリング環境の先進事例</p> <p>1.1 ビワイチ</p> <p>p. 5</p> <p>1. サイクリング環境の先進事例</p> <p>1.2 しまなみ海道</p>	<p>「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方（案）事例・参考資料集」</p> <p>2024年6月</p> <p>かわまちインフラデザイン研究会</p> <p>■問い合わせ先</p> <p>(1) 輪の国びわ湖推進協議会 (一般社団法人輪の国びわ湖)</p> <p>電話：070-5666-7435</p> <p>■概要</p> <p>「瀬戸内しまなみ海道」とは、本州と四国の間にある6島を橋でつなげた本四架橋の一つの西瀬戸自動車道（尾道・今治ルート）の愛称であり、全長約60キロメートル（出典：本州四国連絡道路株式会社）のサイクリングルートのことである。</p> <p>瀬戸内海の島々と美しい海、橋の景観、パノラマ風景や季節の花が楽しめる公園、海賊の遺品が展示された博物館、パークスポットとして知られる神社など数多くのみどころがある。</p>	<p>「河川空間におけるサイクリング環境整備の基本的考え方（案）事例・参考資料集」</p> <p>2025年3月</p> <p>かわまちインフラデザイン研究会</p> <p>■問い合わせ先</p> <p>(1) 輪の国びわ湖推進協議会</p> <p>https://www.biwakol.jp</p> <p>■概要</p> <p>「瀬戸内しまなみ海道」とは、本州と四国の間にある6島を橋でつなげた本四架橋の一つの西瀬戸自動車道（尾道・今治ルート）の愛称であり、サイクリングルートは全長約70キロメートルとなる。</p> <p>瀬戸内海の島々と美しい海、橋の景観、パノラマ風景や季節の花が楽しめる公園、海賊の遺品が展示された博物館、パークスポットとして知られる神社など数多くのみどころがある。</p>
---	---	---

p. 6
事業の経緯

平成 6 (1994) 年には、瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会が設立され、平成 13 (2001) 年には瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会が設立されるなど、サイクルツーリズムの取組以前から、広域連携の組織づくりが進められてきた。平成 19 (2007) 年には、両者が統合されて瀬戸内しまなみ海道地域振興協議会が、さらに平成 27 (2015) 年には一般社団法人しまなみジャパン設立が発立された。同年にはアメリカ CNN のトラベル情報サイトで「世界 7 大サイクリングロード」に選ばれるなど、海外での認知度も高まっていることがうかがえる。

こうした取組の蓄積が認められ、令和元 (2019) 年に国土交通省が認定したナショナルサイクルルートに指定された。

■事業の経緯

S 50 (1975)	本州と四国間の交通を円滑にするため尾道・今治ルートの建設が開始
H6 (1994)	瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会設立
H13 (2001)	瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会 設立
H16 (2004)	「サイクルツアー推進事業」モデル地区に選定 (国土交通省補助事業)
H19 (2007)	瀬戸内しまなみ海道地域振興協議会 設

平成 6 (1994) 年には、瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会が設立され、平成 13 (2001) 年には瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会が設立されるなど、サイクルツーリズムの取組以前から、広域連携の組織づくりが進められてきた。平成 19 (2007) 年には、両者が統合されて瀬戸内しまなみ海道振興協議会となり、さらに平成 29 (2017) 年には一般社団法人しまなみジャパン設立が発立された。平成 26 (2014) 年にはアメリカ CNN のトラベル情報サイトで「世界 7 大サイクリングロード」に選ばれるなど、海外での認知度も高まってきていたことがうかがえる。

こうした取組の蓄積が認められ、令和元 (2019) 年に国土交通省が認定したナショナルサイクルルートに指定された。

■事業の経緯 (抜粋)

S 50 (1975)	本州と四国間の交通を円滑にするため尾道・今治ルートの建設が開始
H6 (1994)	瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会設立
<u>H11 (1999)</u>	<u>瀬戸内しまなみ海道全道開通</u>
H13 (2001)	瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会 設立
H16 (2004)	「サイクルツアー推進事業」モデル地区に選定 (国土交通省補助事業)
H19 (2007)	<u>瀬戸内しまなみ海道振興協議会</u> 設立

		立 （「瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会」と「瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会」との統合） H21 (2009) 特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ 設立 H22 (2010) 広島県側にブルーライン距離標示整備開始 H23 (2011) 開始 H24 (2012) 愛媛県側にブルーライン距離標示整備開始 愛媛マルゴト自転車道構想策定 「日台交流瀬戸内しまなみ海道サイクリング」開催 H27 (2015) 「愛媛サイクリングの日」制定 愛媛県「自転車新文化推進室」を設置 H28 (2016) 愛媛県自転車新文化推進協会 設立 H29 (2017) 一般社団法人しまなみジャパン設立 H30 (2018) サイクリングアイランド四国推進協議会 設立 台湾一周・四国一周の交流協定締結 愛媛県「自転車新文化推進課」に格上げ R3 (2021) 愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョンの策定 R4 (2022) 「サイクルトレイン」混乗実験開始 「えひめ・しまなみリンリントレイン」運行開始 自転車ロードレース「今治クリテリウム」(JBCF 最終戦)。今治の市街地で初開催 「サイクリングしまなみ 2022」(瀬戸内			(「瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会」と「瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会」との統合) H21 (2009) 特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ 設立 H22 (2010) 広島県側にブルーライン・距離表示整備開始 H23 (2011) 開始 H24 (2012) 愛媛県側にブルーライン・距離表示整備開始 愛媛マルゴト自転車道構想策定 「日台交流瀬戸内しまなみ海道サイクリング」開催 <u>H26 (2014)</u> 「サイクリングしまなみ 2014」開催 <u>しまなみ海道自転車通行無料化</u> <u>台湾日月潭との姉妹自転車道協定締結</u> H27 (2015) 「愛媛サイクリングの日」制定 愛媛県「自転車新文化推進室」を設置 H28 (2016) 愛媛県自転車新文化推進協会 設立 H29 (2017) 一般社団法人しまなみジャパン設立 H30 (2018) サイクリングアイランド四国推進協議会 設立 台湾一周・四国一周の交流協定締結 愛媛県「自転車新文化推進課」に格上げ R3 (2021) 愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョンの策定 R4 (2022) 「サイクルトレイン」混乗実験開始 「えひめ・しまなみリンリントレイン」運行開始 自転車ロードレース「今治クリテリウム」(JBCF 最終戦)。今治の市街地で初開催 (削除)
--	--	--	--	--	--

<p>p. 7 スマートフォンアプリの運営や掲載内容の検討方法</p>	<p>しまなみ海道・国際サイクリング大会)開催 しまなみ海道の公共レンタサイクル事業者の運営主体が(一社)しまなみジャパンへ変更</p>	<p>(削除) (削除) しまなみ海道の公共レンタサイクル事業者の運営主体が(一社)しまなみジャパンへ統合</p>
<p>スマートフォンアプリの運営や掲載内容の検討方法</p>	<p>■スマートフォンアプリの運営や掲載内容の検討方法 令和5年10月からレンタサイクル利用者向けにしまなみ海道エリア周遊をサポートするスマートフォンアプリ「SHIMANAMI JAPAN」をリリースしている。観光情報の検索、自転車旅程の作成、音声案内、走行ルート of 記録等を活用できる。 令和5年度はしまなみジャパンが観光庁の「事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業」に採択され、株式会社ナビタイムジャパンがアプリを開発し、データ分析はエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズが行った。 掲載内容については、尾道市、今治市、上島町がそれぞれ観光スポットの紹介、株式会社伊予銀行が地域内事業者のリサーチなどを行い、その結果を代表団体のしまなみジャパンがとりまとめ、公表している。 アプリの開発・運営やデータの可視化等に経費はかかるが、周遊アプリを通じてGPSデータ(移動ログ、滞在時間)、</p>	<p>■スマートフォンアプリの運営や掲載内容の検討方法 令和5年10月からレンタサイクル利用者向けにしまなみ海道エリア周遊をサポートするスマートフォンアプリ「SHIMANAMI JAPAN」をリリースしている。観光情報の検索、自転車旅程の作成、音声案内、走行ルート of 記録等を活用できる。 令和5年度はしまなみジャパンが観光庁の「事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業」に採択され、株式会社ナビタイムジャパンがアプリを開発し、データ分析はNTT コミュニケーションズが行った。 掲載内容については、尾道市、今治市、上島町がそれぞれ観光スポットの紹介、株式会社伊予銀行が地域内事業者のリサーチなどを行い、その結果を代表団体のしまなみジャパンがとりまとめ、公表している。 アプリの開発・運営やデータの可視化等に経費はかかるが、周遊アプリを通じてGPSデータ(移動ログ、滞在時間)、</p>

<p>p. 7</p> <p>効果への地元 の民間事業者 や地域住民の 捉え方</p>	<p>旅行者属性（アンケート：年代、性別、居住地、同行者属性）、 趣味嗜好（閲覧履歴、選択経路）に関するデータを収集する ことが可能となる。</p> <p>■効果への地元の民間事業者や地域住民の捉え方</p> <p>最近では、インバウンドも回復基調にある。海外からの観 光客は滞在日数も長く、客単価も高い傾向があることから、 宿泊施設や飲食店の事業者などからは受け入れに対する好 意的な声が聴かれる。</p> <p>他方、地域住民からはサイクリストの中にゴミを捨ててい く人がいることや、危険な走行への不安の声もあがってお り、しまなみジャパンでは、サイクリングの振興とサイクリ ストのマナー向上を両輪で進めていくことを意識している。</p>	<p>旅行者属性（アンケート：年代、性別、居住地、同行者属性）、 趣味嗜好（閲覧履歴、選択経路）に関するデータを収集する ことが可能となる。</p> <p>■効果への地元の民間事業者や地域住民の捉え方</p> <p>最近では、インバウンドが顕著な回復基調にある。海外か らの観光客は滞在日数も長く、客単価も高い傾向があること から、宿泊施設や飲食店の事業者などからは受け入れに対す る好意的な声が聴かれる。</p> <p>他方、地域住民からはサイクリストの中にゴミを捨ててい く人がいることや、危険な走行への不安の声もあがってお り、しまなみジャパンでは、サイクリングの振興とサイクリ ストのマナー向上を両輪で進めていくことを意識している。</p>
<p>p. 8</p> <p>2. 河川のサイ クリング環境 の現状別の事 例</p> <p>2.1 河川のサ イクリング環 境の3類型</p>		

	<p>河川のサイクリング環境の現状</p> <p>かわまちづくり実施河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポット的に短期間で整備。 ・かわまちづくり計画や地方公共団体の総合的な計画に位置づけ。 <p>事例</p> <p>堺市かわまちづくり</p> <p>都市部の河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿川に複数の地方公共団体等の整備主体や占用主体が存在。 ・主体ごとに整備時期や占用の有無を含めた運用が異なる。 <p>多摩川沿川のサイクリングコース</p> <p>地方部の河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県等の河川管理者が長大な延長の河川管理用通路を活用。 <p>高崎伊勢崎自転車道</p>	<p>河川のサイクリング環境の現状</p> <p>かわまちづくり実施河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポット的に短期間で整備。 ・かわまちづくり計画や地方公共団体の総合的な計画に位置づけ。 <p>事例</p> <p>堺市かわまちづくり</p> <p>都市部の河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿川に複数の地方公共団体等の整備主体や占用主体が存在。 ・主体ごとに整備時期や占用の有無を含めた運用が異なる。 <p>多摩川沿川のサイクリングコース</p> <p>地方部の河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長大な延長のサイクリング環境を整備。 ・地方公共団体等が占用主体となり河川管理用通路を活用。 <p>高崎伊勢崎自転車道</p>
	<p>【河川のサイクリング環境の現状】</p> <p>地方部の河川</p> <p>(事例 :高崎伊勢崎自転車道)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県等の河川管理者が長大な延長の河川管理用通路を活用。 	<p>【河川のサイクリング環境の現状】</p> <p>地方部の河川</p> <p>(事例 :高崎伊勢崎自転車道)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長大な延長のサイクリング環境を整備。 ・地方公共団体等が占用主体となり河川管理用通路を活用。

2. 河川のサイクリング環境
現状別の事例
2.2 かわまちづくり実施河川

※大和川リバーサイドサイクリングラインの完成に伴い、概要や挿入図、出典等を全面的に更新

かわまちづくり実施河川：堺市かわまちづくり

【概要】
■大和川サイクリングライン（仮称）は、大和川上流部にある南河内サイクリングラインと、大阪府南西部から大和川に接続する泉州サイクリングルートをつないで、広域的な自転車周遊ルート形成するサイクリングロードであり、「堺市かわまちづくり計画」に基づいて整備が進められている。また、堺市は2021年3月に策定した「堺市基本計画2025」において、この大和川サイクリングライン（仮称）沿いに、サイクリングの拠点となる施設を民間事業者と連携しながら整備する方針を掲げている。



出典：堺市 https://www.city.sakai.lg.jp/press/press/2021/03/20210316_01.html

【概要】
■大和川サイクリングライン（仮称）は、大和川上流部にある南河内サイクリングラインと、大阪府南西部から大和川に接続する泉州サイクリングルートをつないで、広域的な自転車周遊ルート形成するサイクリングロードであり、「堺市かわまちづくり計画」に基づいて整備が進められている。また、堺市は2021年3月に策定した「堺市基本計画2025」において、この大和川サイクリングライン（仮称）沿いに、サイクリングの拠点となる施設を民間事業者と連携しながら整備する方針を掲げている。

かわまちづくり実施河川：堺市かわまちづくり

【概要】
■大和川リバーサイドサイクリングライン※の堺市区間は、「堺市かわまちづくり計画（平成31年3月登録）」に基づき整備され、令和6年度に完成した。堺市では2021年3月に策定した「堺市基本計画2025」において、「サイクルシティとしての魅力創出」を掲げており、サイクリングの拠点となる施設を民間事業者と連携しながら整備する方針を上位計画に位置付けている。
■同サイクリングラインは大和川沿いの自然や景観を楽しめる約25キロメートル（堺市区間：約8キロメートル）のコースとなっており、大阪府南東部の南河内地域から奈良方面に通じる「石川リバーサイドサイクリングライン」や大阪府南西部の泉州地域から和歌山方面に通じる「大飯ベイサイドサイクリングライン」と接続している。



出典：堺市 https://www.city.sakai.lg.jp/press/press/2021/03/20210316_01.html

【概要】
■大和川リバーサイドサイクリングライン※の堺市区間は、「堺市かわまちづくり計画（平成31年3月登録）」に基づき整備され、令和6年度に完成した。堺市では2021年3月に策定した「堺市基本計画2025」において、「サイクルシティとしての魅力創出」を掲げており、サイクリングの拠点となる施設を民間事業者と連携しながら整備する方針を上位計画に位置付けている。
■同サイクリングラインは大和川沿いの自然や景観を楽しめる約25キロメートル（堺市区間：約8キロメートル）のコースとなっており、大阪府南東部の南河内地域から奈良方面に通じる「石川リバーサイドサイクリングライン」や大阪府南西部の泉州地域から和歌山方面に通じる「大飯ベイサイドサイクリングライン」と接続している。

		<p>スとなっており、大阪府南東部の南河内地域から奈良方面に通じる「石川リバーサイドサイクルライン」や大阪府南西部の泉州地域から和歌山方面に通じる「大阪ベイサイドサイクルライン」と接続している。</p>
--	--	---